

第12号

2015年(平成27年)10月20日(火)

広報委員長 内山英行
 広報委員 安財貴久男
 塩尻利一 橋本和子
 吉田健二 渡辺昇

小布施まちづくりボイス



E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp HP: <http://www.town.obuse.nagano.jp/>

発行: 小布施まちづくり委員会
 会長: 内山英行
 事務局: 小布施町役場
 企画政策課
 Tel: 026-214-9102
 編集: 小布施まちづくり委員会
 広報委員会
 2008年(平成20年)12月18日創刊
 2015年(平成27年)10月20日第12号
 ©小布施まちづくり委員会

シニア世代の出番が今!!

小布施まちづくり委員会会長 内山英行

「定住促進を考える部会」が発足する運びとなりました。初代部会長も櫻井敏夫さんに決まり、新部会長のもとに斬新な展開が期待されます。人口減少問題を他人事でなく、小布施町住民にとっても重大事と受け止め、これから住民みんなに対応策を講じていくことによって、「いざ

その瞬間」が訪れてもうろたえずに冷静に対処できるよう心の準備をしておきたいと考えています。人口減少問題は各自治会にとっても大きなテーマであるだけに、自治会連合会でも問題提起を行っています。

その際留意しておきたいことは、「人口増が近隣市町村の犠牲のもとに行われることのないよう」十分配慮していくことであります。

小布施町内人口に占める、いわゆるシニア世代層が増えています。小布施町在住のシニア世代全員が何らかのボランティア活動に参加することによって、シニア各自が自身の存在意義を見出すことが出来れば、シニアご自身の健康維持に加えて、小布施町内が一層元気になるのではないかと希望を抱いています。シニア世代への仲間入りと同時に、町内小中学校に通う学童たちに対して、「ほめる、しかる」ことを血縁の有無にかかわらず、遠慮せずに実践していったらいかがでしょうか。ここで望みたいことは、学童たちの若い両親たちがシニアのこんな行動を温かく見守ってくださることです。いわば、町中のシニアが全ての学童を常に見守っていることを町内外に印象付けることが出来れば何よりの子育てにつながるのではないかと、との強い期待が背景にあります。

定住促進にとってさらに重要なことは「世代間交流」であります。せっかくの施策も「世代間交流」なくしては片手落ちのそしりを免れず、画餅と化します。ここにもシニアの出番があります。当委員会としても心して取り組まなければいけないテーマであろうと考えています。



ビア・アーベントには大勢のご参加ありがとうございました。今回の開催をもちまして3.11東日本大震災復興支援企画は終了しました。



活動あれこれ



全体会議



中国餃子とネパールカレー作り



放談会



定住促進部会の設立

あなたも「まちづくり委員会」に参加しませんか！

様々な立場の人が自由に意見を交わし、住みよいまちづくりを考え実践する場として平成20年にスタートしました。「安全」「環境」「福祉」「交流」「共育」「定住促進」の6つのテーマごとに部会を設け、月に1回くらいのペースで集まって活動しています。

そんなまちづくり委員会にあなたも参加してみませんか。参加をご希望の方は、下記事務局へお申し込みください。

小布施まちづくり委員会事務局
Tel: 026-214-9102 Fax: 026-247-3113
E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp



おぶせ藤岡牧夫美術館でのお絵かき等交流

広報委員のひとこと

☆まちづくり委員以外の方にもお話を聞きしたり、後日まちづくりボイスの内容についてご意見を伺いにまいりたいと思っています。（宍助）

☆社協在職中からのご縁で、今回まちづくりボイス編集のお手伝いをさせて頂きました。皆さん、よろしくお願います。（橋本）

☆小布施町の皆様に真に親しまれるまちづくりボイスの発刊を心掛けてまいります。（内山）

☆今回よりまちづくりボイス編集のお手伝いをさせて頂いたきます。よろしくお願います。（塩尻）

☆地区の分館報を編集して以来この作業に携わることになりました。WINWの法則はまちづくりと同じモーターが大変です。が頑張ります。（吉田）

